

2025 年事業計画

1. スポーツのまちづくり推進事業

目的：

浦和レッズ、さいたま市と連携し、スポーツを通じたまちづくり・人づくりに資する。

会員が誇りに持てるような事業を創出し、会員価値を向上する。

具体的な事業：

- ・「エンジョイ・スポーツ※」事業

地域の皆さまと共にスポーツ文化を醸成する。

シニアサッカー、グラウンドゴルフ、ウォーキングフットボールなど

- ・レッズランドからの業務の請負い

レッズランド運営に対して構成員（社員）としての協力を拡充し、レッズランドの新たな事業活動を継続して支援する。（育みパートナー協賛獲得、レッズランドの 20 周年事業の協働）

- ・埼玉スタジアム 2002 での試合観戦用の会員専用駐車場の提供

- ・レッズとの協働事業となる法人向けビジネス研修プログラムの提供

法人会員をはじめ企業向けに、日本ブラインドサッカー協会が提供するチームビルディング、コミュニケーション研修プログラムをレッズのホームゲーム開催時に、試合観戦とセットで実施する

- ・一般社団法人さいたまスポーツコミッション（SSC）との事業連携拡充

- ・さいたま市サッカーのまちづくり推進整備事業への協力

フットレリーフ設置事業、高校生サッカーチーム海外派遣事業など

- ・レッズからの業務の請負いを模索

試合運営スポーツボランティアのマネジメント、OB 会事務取扱い他

2. スチュワード（スポーツボランティア）活動

活動の方向性

（1）浦和レッズの試合運営をコアの活動としていく。

トップ：20～30 試合／年、レディース：15 試合程度／年

トップチーム、レディースチームの試合運営サポートの充実（IT 化をはじめ業務の推進体制の効率化）

（2）後援会やレッズランドなどのレッズファミリーのイベントに参加していく

キッズフェスタ、夏おも、レディース激励会、運動会、このゆびとまれっずなど

（3）地域のスポーツイベントに参加する機会をさらに模索していく

後援会の目的に則った地域のスポーツイベントの運営に参加、協力し、支えるスポーツ文化を醸成する
さいたまマラソン、クリテリウム、スポコミフェス、さいたまサッカーフェスタなど

（4）その他

スチュワード（SW）倍増計画

ホームページ刷新、X（旧 Twitter）での発信、スタジアムオーロラビジョンでの SW 活動動画の放映、メディアへの露出により、体験 SW へ誘導、SW 登録者増へ繋げる

スチュワード委員会の運営体制の整備、強化

メンバーの役割の最適化により活動を活発化、SSM（スチュワードサポートメンバー）が新体制でスタート

◆スチュワード委員会メンバー（SCM）

委員長、副委員長、5つのチームリーダー、浦和レッズクラブスタッフ

◆スチュワードサポートメンバー（SSM）

5つのチーム：①トップチーム担当…4名、②レディースチーム担当…2名、③広報担当…3名、④イベント担当…4名、⑤社会連携担当…3名

◆3つのワーキンググループ（WG）

A：ホームページ・DX WG、B：SW30周年記念事業 WG、C：SW 倍増計画 W

3. 会員親睦事業

- ・「後援会らしさ」を打ち出し、仲間づくり、絆づくりに取り組む。
- ・レッズと連携、入手しにくいチケット、ユニフォーム等の斡旋販売を行っていく。
- ・選手との触れ合いを大切にしたい機会を創出する。（大納会、選手激励会、大原サッカー場見学ツアー、社員総会後の懇親会など）
- ・特別感ある試合観戦を実施する。（企画シート、ビューボックス、ビューレストランの活用、応援ツアーの実施）
- ・法人会員向けのビジネス研修プログラムも含め特典を充実し、会員であることに誇りがもてるような取り組みを実施する

4. 総務・広報活動

- ・会員管理システムのリニューアルにより、利便性の向上、サービスの充実を図る。
- ・ホームページ、メールマガジン、SNS等の活用により会員の満足度向上につなげる。
- ・さいたま市との関係性を深化することをはじめとして、県内各地域の行政及び関係団体との連携を強め、活動を幅広く知らせていく。
- ・レッズと地域の絆が深まる取り組みの取材を促進する。（メディアとの良好な関係性の構築）
- ・発行物、制作物については、目的を明確にして良質なものを提供していく。
- ・各種講演（大学授業、ロータリークラブ、関連団体）については、優先順位をつけて着実にかつ丁寧に対応していく。
- ・インターンシップの受け入れに関しては、何のために受け入れるのか、目的を再確認して取り組む。

5. 30周年記念事業における提言書の推進

- ・2023年に浦和レッズ宛に提言した「URWA REDS 3.0」の推進

【提言1.】UWARA REDS オープンイノベーション始動

株主、パートナー、自治体、ファン・サポーター、後援会など、浦和レッズが使命を果たすための継続的に議論する機会の創出

【提言2.】UWARA REDS プラットフォーム戦略

浦和レッズが世界一のサッカークラブとなるための支援に必要な資金を拠出する基金の創設

6. その他

- ・後援会の目的を達成するために必要な事業
（特にファンクラブ的要素を薄め、活動共感型組織への変貌に資するもの）

以 上

第 4 号 議 案

2025年予算

一般社団法人浦和レッズ後援会

2025年1月1日～2025年12月31日

(単位:円)

(1)収入の部		2024年	2025年	差異	小科目	摘 要
大科目	中科目	決算	予算			
会 費 収 入	個 人 入 会 金	71,000	30,000	△ 41,000		30名×1,000円
	個 人 年 会 費	6,636,000	6,600,000	△ 36,000	個人年会費	2,200名×3,000円
		5,165,000	5,092,500	△ 72,500	ファミリー年会費	2,037名×2,500円
		485,000	320,000	△ 165,000	プレミアム年会費	160名×2,000円
	法 人 入 会 金	110,000	110,000	0		11社×10,000円
	法 人 年 会 費	10,440,000	11,400,000	960,000		380口×30,000円
	計	22,907,000	23,552,500	645,500		
事 業 収 入	会員親睦事業	0	1,000,000	1,000,000	1-1.ビューボックス参戦	
		556,000	500,000	△ 56,000	1-2.大納会	
		821,000	1,800,000	979,000	1-3. 激励会	
		869,000	2,200,000	1,331,000	1-4. 応援ツアー	
		640,000	3,000,000	2,360,000	1-5. その他	
		2,886,000	8,500,000	5,614,000		
	チケット等収入	4,552,700	240,000	△ 4,312,700		
	スポーツのまちづくり 推 進 事 業	8,842,500	14,821,000	5,978,500		
	そ の 他	0	2,000,000	2,000,000	ユニフォーム斡旋販売	
	計	16,281,200	25,561,000	9,279,800		
寄 付 金 収 入	協 賛 金 収 入	200,000	200,000	0		
	寄 付 金 収 入	0	0	0		
	計	200,000	200,000	0		
雑 収 入	そ の 他 収 入	1,573	1,000	△ 573		
	計	1,573	1,000	△ 573		
当期収入合計(A)		39,389,773	49,314,500	9,924,727		
前期繰越金(B)		4,574,008	2,990,213	△ 1,583,795		
収入合計(C)		43,963,781	52,304,713	8,340,932		

(単位:円)

(2) 支出の部		2024年	2025年	差異	小科目	2025年 小科目予算
大科目	中科目	決算	予算			
1. 事業費	会員親睦事業	2,229,038	7,050,000	4,820,962	1-1.ビューボックス観戦	1,000,000
					1-2.大納会	450,000
					1-3.激励会	1,600,000
					1-4.応援ツアー	2,000,000
					1-5.その他	2,000,000
	チケット斡旋	4,505,980	240,000	△ 4,265,980	1-6.アウェイチケット	240,000
	スチュワード活動	775,245	1,340,000	564,755	1-7.研修会	1,340,000
	会報制作	433,855	500,000	66,145	1-8.会報制作	500,000
	スポーツのまちづくり推進事業	3,541,541	6,500,000	2,958,459	1-9. スポーツのまちづくり推進事業	6,500,000
	その他	0	1,800,000	1,800,000	1-10. その他(ユニフォーム販売)	1,800,000
	計	11,485,659	17,430,000	5,944,341		17,430,000
2. 運営費	会議費	324,765	500,000	175,235	2-1.社員総会	250,000
					2-2.会議費	250,000
	会員管理費	6,977,962	7,400,000	422,038	2-3.リーフレット・入会記念	
					2-4.会員証発行・更新	1,500,000
					2-5.会員特典費	2,500,000
					2-6.システム管理費	3,400,000
	運営渉外費	618,195	500,000	△ 118,195	2-7.クラブ・新入会	230,000
					2-8.チケット購入費	170,000
					2-9.慶弔費	100,000
	発送費	973,701	1,000,000	26,299	2-10.郵送料	800,000
					2-11.発送手数料	200,000
	表彰費	400,000	600,000	200,000	2-12.選手表彰	600,000
	協賛金・会費等	1,062,000	1,100,000	38,000	2-13.協賛金・会費	1,100,000
	計	10,356,623	11,100,000	743,377		11,100,000
3. 事務費	給料・手当	13,009,101	13,800,000	790,899	3-1.人件費	13,400,000
					3-2.臨時人件費	400,000
	事務・消耗品費	1,983,487	1,700,000	△ 283,487	3-3.事務用品等	300,000
					3-4.事務機器使用料	1,400,000
	印刷費	31,387	70,000	38,613	3-5.封筒印刷代他	70,000
	通信費	421,400	600,000	178,600	3-6.電話・各種郵送代	600,000
	交通費	919,183	950,000	30,817	3-7.職員通勤費等	950,000
	租税公課	663,603	700,000	36,397	3-8.国税・地方税	700,000
	支払手数料	202,645	200,000	△ 2,645	3-9.振込手数料	200,000
	顧問料	570,623	550,000	△ 20,623	3-10.税理士報酬等	550,000
	法定福利費	1,329,857	1,350,000	20,143	3-11.社会保険料等	1,350,000
	雑費	0	0	0	3-12.雑費	0
	計	19,131,286	19,920,000	788,714		19,920,000
4. 予備費	予備費	0	300,000	300,000	4-1.予備費	300,000
	計	0	300,000	300,000		300,000
当期支出合計(D)		40,973,568	48,750,000	7,776,432		48,750,000
当期収支差額(A-D=E)		△ 1,583,795	564,500	2,148,295		
前期繰越金(B)		4,574,008	2,990,213	△ 1,583,795		
次期繰越金(B+E)		2,990,213	3,554,713	564,500		